

江中

「本年もよろしくお願いいたします。」

校 長 大地本央仁

年が明けて、一か月と少しが経ちました。皆様、本年もよろしくお願いいたします。度々の寒波到来に体調を保つのも大変ですね。年末年始は、それぞれ久しぶりの出会いがあり、心安らぐひとときがあった方も多かったのではないのでしょうか。

さて、新年といえば、心機一転新たな目標に向かい、新たな決意をすることもあると思います。2学期の終業式、3学期の始業式に今までの貴重な経験を通して、次の目標に向かうために必要なことの参考にしてもらおうとお話しさせていただきました。

抜粋ではありますが、以下に紹介させていただきたいと思います。

## 2学期終業式

先日のキャリア教育講演会の中で講師の和田毅さんに「継続と挑戦」の大切さを教わりました。

もちろん継続は大切なのですが、正しいことを正しい方法で継続することが重要です。和田さんは著書の中でも『「練習はうそをつかない」は少しだけ間違っている。』と、正しい練習の継続が大切であるとおっしゃっています。

ここで大事なのは、あなたが毎日続けていることが本当に正しい方向を向いているかどうかです。これは、自分だけで考えるのは難しく、様々な価値に触れ、自分の価値観を磨いていくことが大切です。

そう簡単なことではないかもしれませんが、根気強く取り組んでほしいと思います。さらにここからがポイントです。もし、うまくいかなかった、できなかったとしても誰かを悪者にするなどで自分を正当化するなど、**誰かのせい**にしないでください。人の課題に踏み込んだところで自分の課題は解決しません。解決しないどころかトラブルとなり、さらに、相手や周りのせいにして自分の課題を解決しようとしないと成長は完全に止まります。人のせいにとると楽ですし、解決したように思いがちですが、成長とは、自分の課題を解決することです。

先日の人権講演会でも「**差別**」は、**そこにあるのではなく、それぞれのひとの心にある**」ことを講師の三浦成人さんに気づかせていただきました。

自分の周りの何かのせいでうまくいかないのではなく、私たちの心の中でうまくいかない何かを作りあげたり、人のせいにしたりしていませんか。その結果、自分の都合の悪いことから逃げたり、不幸せであることを人のせいにしたりしてしまえば、永久に幸せにはなれません。

令和 7 年もあとわずかです。キャリア教育講演会のあいさつでも言いましたが、毎日が「自分のことをよく知って、将来どんなふうに生きたいかを考え、社会でしっかり生きる力をつける学び」です。

今日お話ししたことは、皆さんだけではなく我々大人も一緒です。新年には皆さんも我々も 1 日 1 日が意味のあるものになるような目標を立てたいですね。

それでは、よいお年をお迎えください。



## 3学期始業式

さて、2 学期の終業式にもお話ししましたが、年の初め、皆さんは、どんな目標を立てましたか。

私は、年末年始、妻の実家に里帰りをしていました。そこで、病気と闘い一日一日をかみしめるように、でも明るく、真摯に生きている義理の母の姿を目の当たりにして、まだまだ私自身、未熟ではあるけれども「できるだけ真摯に、人として恥じない生き方をしよう」と思いました。

皆さんは目標に向けてしっかりチャレンジをして、失敗を恐れることなく多くのことを学んでください。

恥といっても、気を付けたいのは、大人になってからの恥です。大人になったときに、公共の場でみっともない振る舞いをしたり、指摘されてもゴマかしたり、さらに分別のない行動に走ったりすれば、結果としてより恥ずべき事態になってしまいます。さらに、謝るべきときに謝れない、損得のみで行動するなど、相手への信頼を裏切るような言動や、人としての信義に反する自分に気づけないとすれば、とても残念に思います。

失敗は誰にでもあります。でも、そんな時こそ真摯でありたい、裏表なく謙虚でありたいと思います。

皆さんも自分が正しい方向を向いているのかを常に見極めながら 1 日 1 日を大切に根気強く取り組んでほしいと思います。

それでは、3 学期も一緒に良い学期にしましょう。